

トラブル対処方法と注意事項

トラブル	対処方法と注意事項
下痢 ・水様便が頻回に出る	・管理施設や訪問看護師の指導を受けながら、体調に合わせて、注入量・速度・濃度・温度・を調整しましょう(注入量を少なく、速度を遅く、濃度を薄く、人肌程度に温める)。 ・下痢が続く場合は、感染症の可能性もあり、管理施設に連絡するか受診しましょう。
便秘 ・便が硬くなかなか出ない ・お腹が張って痛がったり、吐いたりする	・水分不足の場合(尿量の少ない時)は水分量を増やしましょう。 ・時計回りにお腹のマッサージやお腹を温めるなどをしてみましょう。 ・歩ける方は、日中、散歩などをして体を動かしてみましょう。
嘔気・嘔吐 ・気持ち悪そうにしていたり胃の内容物を吐いたりする	・注入前に声かけをして反応や顔色を確認しましょう。 ・注入時は上半身を30度～90度にします。 ・カテーテル接続時に胃内容物の逆流量が50ml以上ある時は、30分～1時間ほどあけてもう一度、 <u>胃内容物の確認</u> をしましょう。 * 胃内容物が50ml以下の場合: ゆっくり注入を開始しましょう。 * 胃内容物が50ml以上ある場合: 注入は中止し、管理施設に連絡しましょう。 ・注入時の姿勢(上半身を起こす)や注入速度(ゆっくり)に気をつけましょう。 ・注入中に吐いたり、吐きそうになっている時は、注入を止めて様子を見ます。 嘔吐が続く場合は、注入を中止し、カテーテルを開放し、管理施設に連絡しましょう。 ・注入が終わっても30分間は上半身を起こしておきましょう。
詰まり ・カテーテルに栄養剤が流れていかない状態	・指でカテーテルを根元からしごいたり、カテーテルから水を20ml程度注入してみましょう。注入できない場合は、管理施設や訪問看護師に連絡しましょう。 ・注入前に、姿勢や注入速度、お腹の張り具合を確認します。
漏れ	・カテーテル接続時に胃内容物の逆流量を確認しましょう。 * 胃内容物が50ml以上ある場合: 注入は中止し、管理施設に連絡しましょう。 ・漏れが続く場合は管理施設や訪問看護師に連絡しましょう。
皮膚ただれ:発赤・びらん ・発赤は胃瘻周囲の皮膚が赤い状態で、びらんは皮膚が欠損した状態	・注入後は胃瘻周囲をふき取り清潔にしましょう。汚れに応じて『Yパフ』をしましょう。 ・カテーテルを回転させ、ストッパーの位置をかえましょう。 ・カテーテルがひっぱれないように、気をつけましょう。 ・皮膚の状態が良くならない時は、管理施設や訪問看護師に相談しましょう。
カテーテルが破損した場合 カテーテルが抜けた時	・管理施設や訪問看護師にすぐに連絡しましょう。 ・抜けた時は、すぐに緊急連絡先に連絡を行い、カテーテルは捨てずに見せましょう。
付属品の汚れ・破損	・管理施設や訪問看護師に連絡しましょう。

緊急連絡先: 管理施設・かかりつけ医院: TEL:

胃瘻トラブル連絡先: 日中: TEL:

夜間: TEL:

付属品等の購入先: TEL: